

《第4回 ICDアワード受賞者》

第4回ICDアワードを受賞いたしました



東北大学歯学部

松 原 千 夏

この度は第4回ICDアワードを授与していただき、誠にありがとうございます。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

私は東北大学歯学部にて在学中、東北大学大学院歯学研究科国際連携推進部門で洪 光教授が主導する文部科学省創設の「アジア型デンティストリーコンソーシアムによるマルチモーダルなグローバルリーダー育成プログラム」"CAMPUS Asia Plus Program"に参加しました。本プログラムを通じ、インドネシア、タイ、韓国の3か国で合計3度、約75日間の海外研修を経験しました。それぞれの国の歯科の臨床の特徴、教育現場の現状そして文化的背景による様々な事情など、多くの発見や学びがありました。また、海外研修に加え、日本に來訪する留学生のサポートにも尽力しました。プログラムで得た経験やネットワークを活か

し、スケジュールの企画運営をサポートするとともに、歯科に関する知識提供だけでなく、日本での生活支援にも努めました。振り返ると、常にホスピタリティを意識して活動してきたと感じます。

私が学生としてこのような活動に積極的に関わった理由は、今後の歯科医療において国際的に活躍する歯科医の必要性を強く感じたからです。特に専門性の高い歯科医療の分野において、国際的な視点を持ち、異なる文化や医療環境を理解した上で貢献できる存在が必要だと感じます。今後、臨床の現場に携わるにあたり、より広い視野を持ち、多角的なアプローチを意識しながら研鑽を積んでいきたいと思っています。最後に、プログラムにおいて多大なご指導をいただいた洪 光教授、中野先生をはじめとする先生方に、心より感謝申し上げます。



ICD日本部会 富士谷会長と



ICDアワード授与